

IPNU

キャンパスネット



日中韓看護フォーラム いん いしかわ

主催 石川県立看護大学

看護・助産における国際交流のこれから
本学助産師養成課程(大学院)開設キックオフイベントとして

看護師教育・助産師教育に焦点を当てて
いん いしかわ

日中韓看護フォーラム

主催 石川県立看護大学
後援 石川県看護協会
石川県助産師協会
金沢大学医学部保健看護学類
金城大学看護学部保健看護学類
北陸大学看護学部保健看護学類
石川県看護協会
石川県助産師協会
NPNV(日本看護協会)石川県支部

講師
南京中医薬大学(中国)
副学長 徐桂中
看護学院准教授 康健
吉林大学(中国)
看護学院 副院長 李昆
看護学院 准教授 孫皎
イエス大学(韓国)
教授 孔恩淑
石川県立看護大学
教授 川島 和代
教授 濱 耕子

当フォーラムは、学術交流協定校の南京中医薬大学(中国江蘇省)、吉林大学(中国吉林省)、そしてイエス大学(韓国全羅北道)の関係者を招聘し、極東アジアにおける看護師・助産師教育の情報共有を目的に、8月11日、ホテル金沢に於いて開催しました。

当日は石川県内、北陸地域の医療機関や看護系大学職員など約80名の参加者が一同に会し、各国における看護師・助産師教育の歴史、臨地での実践や各教育の発展に繋がる取り組みについて共有しました。

会の最後には、Nurse Practitionerの教育プログラムやTraditional Chinese Medicine(中医学)の看護・助産実践への応用について活発な意見交換が行われました。後援大学や関連機関からも、各取り組みや教育・実践の発展に向けたエールをいただきました。今後とも大学間の学術交流や学生交流、各国での保健・医療・福祉の連携などを通じて、看護・助産の発展に繋がることが期待されます。

今般、文部科学省より、次年度の大学院助産師養成課程の開設を認可され、教育面、研究や社会貢献への幅広い適用の可能性を感じ、大きな刺激を受けました。当養成を通じて女性看護学や子どもと家族の看護学分野と連携した教育研究の遂行につとめ、石川県の地域性と医療保健体制を踏まえた助産実践や助産学の発展・貢献を目指していく所存です。臨床教員の皆様、助産師の方々、医療者の皆様にはご支援・ご協力を賜ります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



会場の様子



招聘教員への感謝状贈呈

入学式



4月5日、入学式を挙行了しました。本年度は、大学院生7名と編入生8名を含む100名が大学生活をスタートさせました。谷本正憲 石川県知事からお祝いのご挨拶を頂戴し、近藤邦夫 石川県医師会会長、吉野幸枝 石川県看護協会会長、油野和一郎 かほく市長をはじめ、多くの保護者の方々にもご臨席をいただきました。

石垣学長から「脳に刺激を与えるための5つの提案」についての紹介がありました。そのうちで最も肝心なものは「自発性」であり、「何事も鵜呑みにしないで疑ってみる、比べる、叩いたり押してみるなどを自分に課し、自らの姿勢を持ち、考え続けることによって、身についた考える力を実感してほしい。」と呼びかけました。

新任教員紹介

①出身地 ②前任 ③趣味 ④モットー ⑤今後の抱負



三部倫子 講師

①北海道 ②日本学術振興会特別研究員(PD)、サンフランシスコ州立大学客員研究員 ③空手 ④無理なく、ながーく続ける。 ⑤自然豊かな北海道で産まれ育ち、国内外を放浪。東京での修行(?)生活の後、日本海の見える石川県にたどり着きました。社会学の立場からLGBT家族等、家族が本来もつ多様性について地域・学生に伝えていきます。



南堀直之 助教

①石川県金沢市 ②金沢大学附属病院 集中治療部 ③釣り ④教育は人なり ⑤卒業から11年が経ち、教員として母校に帰ってまいりました。教育者としてはまだまだ初心者ですが「教育は人なり」をモットーに、看護の素晴らしさを学生に伝えていきたいと思っています。



瀬戸清華 助手

①石川県白山市 ②金沢大学附属病院 ③お寺巡り ④やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず ⑤この大学の2期生です。学生時代にお世話になった先生方や先輩後輩と共に働けていることに感謝しています。これまでの臨床経験から得た看護の醍醐味を学生に伝えたくこの道を選びました。今は毎週の英会話などここでできないことにチャレンジしています。



長谷川美里 臨時助手

①石川県七尾市 ②東京女子医科大学病院 ③子どもと遊ぶこと ④七転び八起き ⑤今年、約20年ぶりにふるさとに戻ってきました。「教育」に関わる仕事は初めての為、ご指導を受けながらの学びの毎日です。学生さんと共に学び、看護の楽しさ、素晴らしさを一緒に体感できたらと思います。



樋口麻衣子 特任助手

①富山県 ②富山大学附属病院 ③ミュージカル鑑賞 全国各地に旅行も兼ねて観に行きます。 ④NO DAY BUT TODAY ⑤今年度から新がんプロになりました。多様なニーズに対応して、スムーズに運営できるように関わってまいりますので、宜しくお願いします。



出口まり子 特任講師

①石川県能美市 ②医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院 職位：看護局長 ③「チャングムの誓い」を見てから韓流ドラマ時代劇にはまり、毎週ドラマを観ること ④過去と他人は変わらない。未来と自分は変わる。まずは自身が変わっていくことで、未来が開かれる。と日々努力すること ⑤認定看護管理者教育課程サードレベルは2年目を迎えます。トップマネージャー育成に力を注ぎたいと思っています。



堅田三和子 助教

①石川県羽咋市 ②地域医療機能推進機構金沢病院 ③旅行(企画を考えることも楽しいです)、演劇鑑賞(できれば笑いたいもある内容がいいです)、眠ること(睡眠環境を整えて良い眠りを探求します) ④「なんとかなる」 ⑤認知症看護認定看護師教育課程第一期生全員の修了と資格の習得を目指しております。どうぞよろしくお願いいたします。



亀田幸枝 教授

①石川県加賀市 ②金沢大学 ③近江町市場で食材を物色すること、温泉につかってまったりすること ④一人ひとりの個性を大切にすること ⑤来年4月から始まる助産師養成課程では、確かな実践力と心のこもったケアができる助産師を育てたいと思っています。また、学内の多くの委員会活動や役割を理解し、本学の使命でもある地域貢献活動にも取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



桶作梢 助手

①石川県金沢市 ②金城大学看護学部 ③読書、散歩 ④人との出会いを大切にすること ⑤自分が生まれ育った石川県で教育に携わることができることを大変嬉しく思います。助産師として勤務した経験を活かし、学生の皆さんとともに母性看護、助産を楽しく学び、考えることができたらと思っています。



山田ちづる 臨時助手

①試される大地、北海道出身です。 ②教員経験はなく、臨床で3年ほど働いておりました。 ③最近サッカーに興味を持ったのでツエーゲンの試合を観戦しに行っています。 ④「なるべく笑顔」です。笑門には福来ります。 ⑤この出会いもなにかのご縁かと思っています。たくさん学び、感じていただくことを学生さんにも伝えていければいいなと思っています。

開学記念行事

5月29日(月)、本学講堂にて開学記念行事を行いました。

今年度は、「多様な個性と共生の可能性」をテーマに2名の方からご講演いただきました。医師の吉川徹氏は、「大人の発達障害」の特徴を専門家の立場からわかりやすくお話していただきました。広野ゆい氏は当事者として、時にはユーモアを交えながら、これまでに得た経験や知見を伝えてくださいました。

午後からは、全体交流会を開催しました。菊田真亜子氏(1期生)、釜谷英希氏(3期生)、伊藤仁美氏(5期生)、吉田綾氏(10期生)、山村美貴氏(10期生)は、在学時の勉強方法、現在の仕事、育児と仕事の両立に奮闘する毎日など、「卒業して数年後のリアル」をざっくばらんに話してくれました。在学生からの質問に対して、卒業生は自分の言葉で丁寧に答えていました。在学生は、卒業生の現在を知ることによってロールモデルを描くことができました。



学長表彰・感謝状贈呈

丸岡直子教授、清水暢子助教にベストティーチャー賞、ワシントン大学ノエル・クリスマン教授、非常勤講師の小泉晶一氏、模擬患者の香林幹夫氏に感謝状を贈呈しました。学生団体表彰は、駅伝サークルに授与しました。



丸岡直子教授



清水暢子助教



駅伝サークル

夏のオープンキャンパス開催! 2017.7.15.

夏のオープンキャンパス、学生が高校生をサポート!

高校生・保護者等393名参加

夏のオープンキャンパスは7月15日に県内外から393名の高校生・保護者等を迎えて開催しました。模擬授業(担当:成人看護学 村井嘉子教授)では救急治療場面の映像が流され、臨場感満載の授業に参加者は熱心に聴講、看護師として活躍する未来の姿をイメージできたのではないのでしょうか?

看護大学のオープンキャンパスは、学生広報委員会が中心になって運営するのが特徴、学生の意見を企画や運営に反映します。学生が受付から司会進行、実習室での講師役、キャンパスライフ紹介等、培った力を発揮しました。秋のオープンキャンパスは「受験準備セミナー」を実施予定、10月28日(土)キャンパスでお待ちしています。



模擬授業 村井教授の熱い語りに関心する高校生
テーマ: 救急看護とは…
未来の救急看護を支えるみなさんへ



学生は骨密度測定はお手の物、サークル活動で培った成果



学生達が相談コーナーで高校生へ経験を活かしたアドバイス、自信に満ちた表情…



新たな学生サークルが誕生



演劇サークル

演劇サークルは、昨年の夏に設立したばかりのサークルです。様々な人に演劇を観てもらい、沢山のことを感じて欲しい、自分達も感じたい、という思いで活動しています。昨年12月の第一回公演「命あるかぎり」では、観客の皆さんに、感じて、考えてもらうことが出来たのではないかと思います。



次回公演は、大学祭で初のサークル員による創作台本での公演を予定しています。是非お越しください。

看護大 子育て応援隊 ひよっこ

平成29年5月に、子育て支援ボランティア活動を行うサークルとして「看護大 子育て応援隊ひよっこ」が設立されました。「ひよっこ」の由来としては子どもたちだけでなく、親も子育てを通して、さらに学生は子育て支援ボランティアを通して成長していけることを目標に学生と共に考えました。サークルメンバーはみんな子どもが大好きで、将来は子どもに関わる場所で働きたいと考えているメンバーも多くいます。

活動としてかほく市子育て支援課の方々の活動にボランティアとして参加し支援を行っています。今後は子育て支援活動に必要な知識や技術習得のための勉強会などを企画し、活動の幅を広げていきたいと考えています。



SOUDAN LABOが はじまりました

今年から学生相談部会ではSOUDAN LABOを始めました。大学生活をスムーズに始められ、快適に過ごすためにお得な情報が聞けます。気軽に顔を出して下さい。年に4~5回開催します。

毎回テーマを決めて、学年を超えた先輩・後輩との交流、教員も一緒にわいわいやってます。美味しいお菓子やドリンク付きです。

<前期の開催内容>

第1回のテーマ：「看護大生の生活裏情報」

一人暮らしの学生、先輩たちから毎日の生活に役立つ、お得な情報が聞けるかも!

第2回のテーマ：「試験に向けての勉強のやり方」

上級生から試験勉強に役立つ話を聞こう!

後期も案内しますので、また、来て下さいね!!

* 第2回 SOUDAN LABO ~大学生活を楽しもう!~

SOUDAN LABO第2回目のテーマは、「試験に向けての勉強のやり方」です。上級生から試験勉強について、役に立つ話が聞けます。みんなで情報交換して、試験を上手に乗り切りましょう!

日時 6月27日(火)

16:20~17:20

(お茶・お菓子付き)

場所 地域ケア研修室

参加者 学年に関係なく、皆さん大歓迎です!

申し込み先 保健室 井上

下記のメールアドレス、または保健室に直接申し込みに来て下さい。
保健室メールアドレス: kenkou@ishikawa-nu.ac.jp

申し込み締め切り 6月20日(火) 17:00



企画：学生相談部会

卒業生・修了生に聞く

卒業生・修了生からのメッセージ

能登中部保健福祉センター 企画調整課 技師 保健師
(平成26年度卒業) **藤澤 梢さん**

私は保健師として、健康増進事業に関わる業務を行っています。健康寿命の延伸を目指し、各市町や企業等、様々な機関と連携しながら、がん検診の受診率向上や歯の健康づくり、ロコモ予防などに関する事業を実施しています。

働く世代の健康づくり支援として、企業へ健康課題に応じた健康教育を行っています。効果的に健康教育を行う事の難しさを感じることもあります。しかし、対象者から「生活習慣を見直す良い機会となった」と感想を頂いたときは、保健師としてのやりがいを感じます。これからも住民に寄り添った保健活動を行いたいと思います。



輪島市立町野小学校 養護教諭
(平成27年度卒業) **武田 悠花さん**

私は看護大学時代の実習で、生活習慣病の患者の多さを知り、予防医学に興味を持ちました。子どもの頃に発達段階に応じた教育をすることで、生涯健康で過ごす人が多くなってほしいと思い養護教諭を目指しました。そして、今、念願の養護教諭をしています。

輪島市という慣れない土地で戸惑うこともありましたが、元気な子どもたちの笑顔から元気をもらいがんばっています。ハンカチを毎日持ってきていなかった児童も毎日声をかけることで持ってくるようになり、自己管理能力が育っているのがとても嬉しいです。



金沢大学附属病院 集中治療部 看護師
(平成28年度修了) **田中 陽子さん**

「大学院での学びが

臨床現場で活かされていること」

私は今、集中治療部で働いており術後や状態の悪化により身体的に状態が不安定であったり、精神面でも不安を抱えている患者と関わっています。

私は大学院で得られた研究データをありのままに記述することを学びました。この学びを生かし、身体的・精神的に不安定な患者の様子をありのまま記録に残すことで次の勤務者への情報共有に繋がっていると考えます。

これからは大学院での学びを生かし急性期の時期を患者が安全・安楽に過ごせるように努めていきたいと思っています。



ののいち産婦人科クリニック 助産師
(平成25年度卒業) **高島 周さん**

「大学入学前からの夢だった

助産師として働くこと」

卒業後、助産師になるため金沢大学大学院へ進学しました。助産実習を重ねる中で助産師が妊娠から産後までしっかりと関わる重要性を感じたことから、現在のクリニックに就職しました。新卒でのクリニックへの就職は不安もありましたが、経験豊富な先輩方や、日々の分娩で産婦さんから直接学ぶことは非常に多いです。2年目の現在は分娩や産褥中心ですが、妊娠期への関わりもできるよう、経験や勉強を重ねていきたいと思っています。



認定看護師になって

いつも、自分の家族だったらという学生時代の恩師の言葉を胸に…

公立松任石川中央病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 (平成18年度卒業生) **山本 美穂さん**

公立松任石川中央病院に勤務して11年目に入りました。経験2年目頃、絶食中の高齢患者さんの口腔ケアを実施し、蜂蜜味の口腔ケア用ジェルを用いたところ、暗い表情だった患者さんに笑顔がみられ、その笑顔を見てご家族も喜ばれました。口腔ケアの大切さを再認識したひと時でした。病院にも嚥下サポートチームが発足し、リンクナースに加えていただきました。

昨年、医師や病棟師長のすすめもあり、愛知県看護協会が開催する摂食・嚥下障害看護認定看護師の教育課程に進みました。全国の看護師達との半年の学びは自分の意識を変えた貴重な時間だったと思います。

これからの夢は、チームの中で1人でも多く「おいしい」と言って頂けるような看護実践を重ねたいこと、院内に同じような志をもつ仲間を増やしていきたいこと、日々、誠実に「口から食べたい」と願う患者さんたちの力になりたいと考えています。いつも、自分の家族だったらという学生時代の恩師の言葉を胸に…。



勤務する病棟の病室にて

最期の時まで人を支えることのできる看護の豊かさを伝えていきたい!

金沢医科大学病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 (平成16年度卒業生) **前田 朝陽さん**

金沢医科大学病院の呼吸器疾患を中心とした内科病棟に勤務して10年、根拠をもってより良い看護がしたいと思い、当時、出来たばかりの認定看護師教育課程(福井大学)にチャレンジしました。「学びたいと思った時がチャンス!」と病棟師長の後押しが一步踏み出すきっかけでした。感謝しています。半年間、恵まれた環境で志を同じくする同期と存分に学びました。

現在は、呼吸器疾患だけではなく消化器疾患等の患者さんも入院している病棟に配属変更になりました。専門性の高い大学病院の病棟では呼吸器の得意な医師や看護師ばかりではありません。自分の知識や技術も活用してもらえればと考えて仕事に向き合っています。

今後の夢は、看護外来の開設と共に研究の成果も活かして吸入指導のシステム化を実現したいと考えています。また、実習指導者の任も頂き、後輩たちに自分が経験した最期の時まで人を支えることのできる看護の豊かさを伝えていきたいと願っています。



病棟のラウンジにて

初年次教育実践交流会 in 北陸

5月20日(土)に、「医歯薬看護系におけるアクティブ・ラーニングの実践と展開」報告会(初年次教育学会と共催)を、しいのき迎賓館で行いました。本学は「看護学生の主体的に学ぶ力を地域で育てる」と題して、フィールド実習を通した1年生の学びと成長を報告しました。県内外の大学や教育機関から70名の参加者を迎え、初年次教育の実践方法に関する意見交換が活発になされました。



平成29年度がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)の採択

文部科学省の「平成29年度大学教育再生戦略推進費」補助金による、多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プランに、北信



がんプロが採択されました。北信がんプロは、金沢大学、信州大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、そして石川県立看護大学が連携し「超少子高齢化地域での先進的がん医療人養成」をめざします。9月18日(月・祝)



には、連携する6大学の学長、行政、がん拠点病院など約80名が集まり、キックオフミーティングが開催されました。本学では、主に小児から高齢者までのがん患者への支援に焦点を当て、がん看護に関する知識・技術の向上に努めます。

多久和教授が日本学術会議会員に任命されました

日本学術会議は学術の推進への国際貢献と国内の重要事項に関する広い見地からの提言・報告を行うことを使命とする全分野の科学者の代表機関であり、210名の会員と2000名近い連携会員から構成されています。この度、思いがけなくも第24-25期(6年間)の会員に任命されました。大変な重責に身が引き締まる思いですが、精一杯の微力を尽くす所存です。

平成29年10月吉日

健康科学講座教授 多久和典子



シアトル視察報告

私たち(写真)は、2017年3月22-30日、米国のワシントン州、シアトルの5箇所の施設を巡り「Nurse Practitionerに関する視察」をおこないました。目的は、Family NPの役割や活動実態及び、それに至る教育内容や方法を学ぶためです。参加者は、石垣和子学長を団長として、牧野智恵教授(成人看護学)、長谷川昇教授(機能・病態学)、林一美教授(在宅看護学)、中田弘子准教授(基礎看護学)、塚田久恵准教授(地域看護学)、石川倫子准教授(看護キャリア支援センター)、谷本千恵准教授(精神看護学)、中道淳子講師(老年看護学)、金谷雅代講師(小児看護学)でした。参加者は、視察で学んだ多くのことを教員全体に報告しました。



講師と参加者ら(Family Care of Kentにて)

看護キャリア支援センターより

認知症看護認定看護師教育課程が開設されました

2017年7月5日、認知症看護認定看護師教育課程の開講式を行いました。第一期生として33名が入学しました。看護師経験5年以上、うち3年以上の認知症看護の実績を有する看護師たちです。来年2月までの約8ヶ月間に、これまでの経験を振り返りながら、計645時間の専門的な講義・演習・臨地実習を受講し、認定看護師の資格を目指します。履修生は、モチベーションが高く、団結力もあり、助け合いながら熱心に学びを深めています。関係機関の皆様、ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



附属図書館より

平成29年度石川県図書館協議会定例会議及び講演会

6月29日(木)、本学地域ケア総合センター研修室にて標記会議及び講演会を開催しました。14館の司書等19名が参加し、28年度事業等の報告と29年度事業計画案等の承認、およびラーニングコモンズの管理等についての実状報告と意見交換を行いました。

本学川島和代教授による「ナイチンゲールからの贈り物：すべての人の健康を願って」の講演会では、ナイチンゲールの生涯や、「病気とは回復過程」「日々の健康上の知識や看護の知識、つまり病気にかからないような、あるいは病気から回復できるような状態にからだを整えるための知識の重要性」等、看護の本質に通じる考え等を共有しました。



地域ケア総合センターより

地域包括的ケア時代「病院と地域とのシームレスな看護連携」を目指して

7月1日(土)に「つながる・ささえる・つくりだす在宅療養移行支援」と題し、事例検討・講演会を開催し、約140名の方が参加されました。事例検討では、病院と地域との連携事例をとおして、その人の意思を大切に、その人がその人らしく最期まで生きるための支援を考えました。また秋山正子先生からご講演を頂き、参加者一人ひとりが「住み慣れた場所でいつまでも生活する」重要性を再認識し、そのためには病院と地域とのシームレスな連携が不可欠であると確信しました。



●第19回日本救急看護学会学術集会開催について

これからの時代、救急看護師は、救急医療現場でケアを受けた人が元の生活に安心して戻るための戦略を関連専門職と協働して構築することが強く期待されています。また、人ができる限りの治療と療養の結果として人生の終盤を迎えた時、人間としての尊厳を維持できるように、その場に遭遇した救急看護師の専門的かつ人間的な対応・支援が不可欠になっています。

学会開催中には、市民公開講座「災害時に生じやすい急性疾患・症状とその対応 一日頃からの備え」(入場無料)を開催いたします。

学会ホームページアドレス URL:<http://www.jaen2017.com/>

●ライフステージ事例検討会(北信がんプロ企画)

本企画は、北信4県においてテレビ会議システムやWeb会議システムを利用して、各専門看護師や薬剤師、医師、理学療法士など多職種で、緩和ケア、がんリハビリ、化学療法中の患者へのケア事例について意見交換をおこない、各対象に応じた緩和ケアの知識・技術を得ることを目的としています。専門看護師や多職種によるミニレクチャーや北信がんプロによるe-learningの科目から、がん患者のケアに必要な知識を習得します。開催日、開催予定施設については、本学ホームページを御覧ください。




大学祭

今年度の大学祭実行委員長を務めます、立川啓太です。
今年度の大学祭のテーマは、『RENCONTRE(ランコントル)』です。ランコントルとは、「素敵な出会い」という意味のフランス語です。大学祭では、いままでの多くの出会いに感謝し、出会ってきた人とともに笑顔でいられる場になりたいと思っています。子どもから大人まで楽しめる看護大ならではの企画を用意しています。ひとつの憩いの場として大学祭を楽しんでいってください。1年に一度の大学祭。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

平成29年度 後期キャンパススケジュール

| 後 期 | | | |
|-------------|-------------------------|-----------|-----------------------|
| 授業開始 | 10月 2日(月) | 冬季休業 | 12月 23日(祝) ~ 1月 4日(木) |
| 履修登録受付 | 10月 6日(金) ~ 10月 11日(水) | 補講・試験 | 2月 9日(金) ~ 2月 20日(火) |
| 大学祭(看大祭) | 10月 28日(土) ~ 10月 29日(日) | 春季休業 | 2月 21日(水) ~ |
| 秋のオープンキャンパス | 10月 28日(土) | 卒業式・学位授与式 | 3月 17日(土)(予定) |

石川県公立大学法人

石川県立看護大学 看護学部看護学科 大学院看護学研究科
 ISHIKAWA PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY

〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地 TEL 076-281-8300 FAX 076-281-8319
 URL <http://www.ishikawa-nu.ac.jp> e-mail office@ishikawa-nu.ac.jp

版權は石川県公立大学法人に帰属します